



愛は、翼がある!

カンボジア・プロジェクト サイド・バイ・サイド・カンボジア(SBSC) NGOと共に

カンボジアは、国民の4割が15歳以下の子供とされています。貧富の格差は大きく、水道設備や電気とは無縁の人々も大勢います。国民の3割は、1日1ドル以下の生活をしており、5歳未満で死亡する子供は1000人中141人です。サイド・バイ・サイド・インターナショナルは、カンボジアの子供たちへの教育支援や貧困に苦しむ人々への生活支援を、重要な目標としています。

日本の学生のスタディーツアー



ルムドア島の子供たちと学生たち

8月に日本の大学生サークル「グラフィス」の学生23人、カメラマン、社会人など、総勢26人と共に、カンボジア・スタディーツアーを実施。昨年「グラフィス」の寄付で開校したコンポントム州の学校を訪問したほか、学生たちの次の目標である医療施設建設のために、カンボジアの医療事情を学ぶツアーをSBSCIがコーディネートしました。訪問先は、公立診療所、州立病院、アンコール小児病院、HIVの赤ん坊と障害児のための国立孤児院などです。学生たちは、ルムドア島の障害者夫婦の家の修復工事や幼稚園でのボランティアも経験し、最後に保健大臣と会見しました。



ソコム保健大臣と会見



HIV感染児の施設



州立病院の渡り廊下



PHJの中田さん

コンポントム州の診療所を支援するピーブルズ・ホープ・ジャパンの中田好美駐在員からは、カンボジアの国内医療事情について詳しいレクチャーをいただき、アンコール小児病院では、最近、テレビでもその献身的な働きが紹介され、全国で感動を呼んだ赤尾和美看護師(右写真 右から二人目)に案内していただき、貴重なお話を聞きました。



ルムドア島の貧困家庭支援&幼稚園運営



サイド・バイ・サイドの幼稚園

サイド・バイ・サイド
カンボジア(NGO)
現地スタッフ
Mr. & Mrs. Temman

長年に渡り、孤児院や学校、貧困地域への支援活動を行い、毎年、医療チームも含め、何組もの各国からのボランティアを受け入れている。



貧しい住民に無料診療を行う各国の医療チーム



SBSIとSBSCは、2007年4月から、障害者や母子家庭の多いルムドア島(メコン川中州)の貧しい子供29人のための無料の幼稚園運営を開始しました。親が働く間も子供たちは安全な環境で元気に学んでいます。



支援先の母子家庭



全盲の母と息子



障害者の家を修復する日本の学生

日本の支援者がこの幼稚園の運営費と給食費を支援し、他に、定期的な食料援助や子供の学費支援プログラム、また貧困家庭の生活費支援も実施しています。さらに、シンガポールの学生及び社会人ボランティアによる多くの家の修復と共に、米国やシンガポールからの医療チームによる無料診療も行いました。

カンボジア・ブックプロジェクト 2007



バサックスラム

2006年に続き、カンボジアの子供たちのために製作した二カ国語のオリジナル絵本を各地で子供たちに手渡しました。今回、障害児センター「ハウス・オブ・スマイルズ」も訪問し、初めてカンボジアの障害児にも本を手渡しました。子供たちの多くは、保護される前は、家に閉じこめられ、暴力を受けたり、働かされていたのですが、今、毎日良い教育を受けており、笑顔がとても輝いています。所長のサリンさんは日本にも短期留学したことがあり、リハビリの指導や車いすの寄贈などを要請しています。ご協力いただける方はご連絡下さい。



「ハウス・オブ・スマイルズ」(障害児センター)



カンダル州の公立学校の校庭



NCCLA孤児院

「グラフィス」が寄贈したコンポントム州の学校を同サークルの学生と共に訪問。300人の生徒に本配布(ユニセフの教育プロジェクト・オフィサーのチャム氏の協力)

コーラップ4 孤児院支援

コーラップ4 孤児院は、8年前から、サイド・バイ・サイド・カンボジアのスタッフが支援してきました。定期的な食料その他の援助にとどまらず、学費スポンサーや就職先を探したり、悩みの相談にのるなど、一人一人の生い立ちや人生にかかわってきました。定期的に、コンピューターレッスンを行うほか、楽しいクリスマスイベントや道徳プログラムも実施しています。また、一年を通して、各国からのボランティアたちが訪問しては、パフォーマンス、英語や美術などの特別レッスンも行っています。SBSI(日本)のスタッフは、8月に訪問し、改築のボランティアに来たシンガポールの学生たちの作業を指導しながら、数日間、共に働きました。



建物改築工事

壁を倒して移動させる



SBSIのスタッフがシンガポールの大学生や孤児院の若者を指導



ペンキ塗りする大学生と子供達



バルーンの動物を作るSBSIスタッフ



日本の会社から寄贈された衣装



孤児院を訪問した日本の若者たちギターでひき語りも披露。



日本の支援者から寄贈された新品のTシャツ



10日間の改築工事に来たシンガポールの大学生や教師たちと。

その他のカンボジアでの活動

ゴミの山地区



SBSCのスタッフが定期的に食料配布をしています。今回、ゴミの山地区住民の支援をしている日本のASIAN MONKEYのメンバーの若者たちとも会いました。



スラムからの移住者用の施設で食料配布



カンダル州の公立学校の校庭で子供達に食料配布



SBSCが孤児院の子供に定期的に行うPCクラス

視覚障害者の皆さんや盲導犬と共に



SBSIスタッフが、10月にボランティア研修会出席の後、東京デイズニーシーで、全国盲導犬使用者交流会の付き添いをしました。視覚障害者の方たちから学ぶことの多い一日でした。

盲導犬のびつちゃん



愛は他の人を助ける手をもっている

お金では買えないものをあなたは、いくつ持っていますか？

これからも皆さまからのご支援、ご協力、よろしくお願いたします。

寄付・みずほ銀行 世田谷支店
ご支援金 普通口座 2223876
振込先 サイド・バイ・サイド



特定非営利活動法人

サイド・バイ・サイド・インターナショナル

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-35-22-111 TEL&FAX 03-5300-3324

E-mail: mail@side-by-side-intl.org HP: http://www.side-by-side-intl.org